

GYODA 8

Aug.2014

No.818

市報ぎょうだ CITY PUBLIC RELATIONS



特集

広報新時代

P.2

忍川・さきたま調節池・
酒巻導水路が変わる…

川のまるごと
再生プロジェクト展開中!



広報新時代

全国に誇れる地域資源が豊富にある行田市。全国の皆さんにその魅力を伝えたい、届けたい。そして、もっと多くの方に行田を訪れてもらいたい……。そのための広報手段として何があるのか。ここでは、広報紙やホームページだけでなく、新時代を切り開く広報手段で、行田の魅力を発信する取り組みを紹介します。

これまでの広報

平成24年11月に公開された映画「のぼうの城」。映画の舞台となったまちとして、「行田」という地名は全国に知られるようになった。しかし、「行田の魅力」が全国に伝わっていないのかというと、残念ながらまだまだ知られていないのが実情です。わがまちには、埼玉古墳群や忍城址、足袋蔵、B級グルメ、行田蓮、田んぼアートなど、全国に誇れる地域資源が豊富に



あるのに……。一体なぜなのでしょう。それは、これまでの広報手段が広報紙とホームページに限られていたことでした。広報紙は市民の方に、ホームページは本市に興味を持った方にしか情報が行き届きませ

る。その結果、行田の魅力を全国の方に広く伝えることが十分にできなかったのです。

新たな広報に挑戦

通信環境の飛躍的な向上により、家庭や個人で気軽にインターネットや動画を見ることができるようになりました。また、日記やメッセージなどを通じて友人や知人・共通の趣味を持つ方との交流を目的としたサービスであるSNS（ソーシャル・ネットワークキング・サービ

ス）も登場。市では、平成24年度にSNSの一つとして代表的なツイッターを導入し、「行田市公式ツイッター」から行政情報や災害情報を発信することで広報手段を拡充しました。

平成25年度には「全国の皆さんに行田というまちを知ってもらいたい。実際に行田を訪れていただき、その魅力を肌で感じてもらいたい」という思いから、本格的に「行田の魅力発信事業」をスタート。観光スポットや各種イベントの様子を紹介する行田市PR動画を作成し、市ホームページ内の行田動画チャンネルに掲載した他、動画共有サイト「ユーチューブ」でも配信しています。さらには、初めての取り組みとして「第1回行田市CMコンテスト」を開催。行田

最先端の技術を駆使

今や2人に1人が所有しているといわれているスマートフォン。その動画視聴機能に注目し、AR（拡張現実）技術を使った動画を配信しました。ARとは、スマートフォンや携帯タブレットを紙面（パンフレットやポスター）などの特定の場所にかざすと、動画が視聴できるものです。文字や写真だけでは伝えきれない情報を付加することで、若い人をはじめ、多くの方に広報紙や本市に興味を持ってもらいたいという思いがありました。



スマートフォンがあれば無料ですぐにAR体験ができます

る根本さんの動画とあって、全国から広報紙を求める声が上がするなど反響を呼びました。

魅力発信事業第2弾

全国に行田の魅力を発信するために、継続して情報を発信することが必要です。さらに、工夫を凝らしたPR方法でなければ、その効果は期待できません。今年度、魅力発信事業第2弾として、「AR（拡張現実）技術を活用した行田の魅力発信事業」第2回行田市CMコンテスト」を実施します。

前年度は、「市報ぎょうだ」平成26年1月号に本市の観光大使である、スターダスト☆レビューの根本要さんからのスペシャルメッセージ動画を配信しました（現在は視聴できません）。全国に多くのファンがい

る。行田の魅力を動画で発信するとともに、撮影を通して行田を好きになってもらう。この取り組みが、行田の魅力をさらに広めるきっかけになると期待しています。

第1回行田市CMコンテスト入賞者にインタビュー



CMコンテストの応募をきっかけに、もっと行田が好きになりました

第1回行田市CMコンテスト
審査委員特別賞を受賞
金井義介さん（押上町）

今まで行田の自然を中心に撮影してきました。第1回行田市CMコンテストに応募した理由は、「水と緑が豊かな行田」を全国にPRできたらという思いがあったからです。多くの友人に入賞したCMを見てもらいましたが、みんな「行田っていいまちだね」と言ってくれました。私自身も、「行田は自然にあふれていて、魅力的なまち」ということを改めて認識しました。第2回のコンテストもあるので、入賞できるような作品を作って、応募したいですね。



写真に加えて、動画またはARで行田の魅力を発信中





第12回 全国藩校サミット行田大会が開催されました



7月5日、「藩校教育の理念を今に活かす」をテーマに、産業文化会館で第12回全国藩校サミット行田大会が盛大に開催されました。全国から47の旧藩主や藩校教育者240人が参加した他、約800人の方が来場。江戸時代の藩校教育の素晴らしさを改めて知ることができた大会となりました。



①式典の様子 ②素読発表を行う児童たち ③神田紅さんによる記念講演 ④加地伸行さんによる講演会 ⑤古代蓮の里を訪れる藩校関係者

講師 神田

「人の道」「心の教育」を今に生かし、まちづくりや人づくりに生かす

藩校サミットは、江戸時代の藩校教育の精神や伝統を継承し、新しい時代の文化を創造することを目的に、毎年旧藩校所在地持ち回りで行っています。今年も、藩校「進脩館」のあった行田市が会場となり、埼玉県内では初めての開催となりました。大会では、藩主会議や藩校会議をはじめ記念講演などが行われた他、藩校教育の精神「人の道」「心の教育」を各地に広め、今後のまちづくりや人づくりに生かしていく「行田宣言」が採択されました。

また、今回のサミットでは、(公財)忍郷友会の協力の下、漢字文化の継承と豊かな言語感覚を養う「忍藩子ども塾素読教室」の塾生と埼玉小学校の児童約160人による「素読発表」を実施。児童たちは、漢詩と論語を約30分にわたり暗唱し、はつらつとした声が場内に響き渡っていました。

忍藩や進脩館の歴史や伝統を改めて振り返ることができた他、郷土愛をさらに深めることができた「全国藩校サミット行田大会」。行田のまちづくりや人づくりに大きく貢献したことでしよう。

行田宣言 (抜粋)

本日、私たちは「彩の国」埼玉県行田市に集い、「藩校教育を今に活かす」をテーマに、第12回目の全国藩校サミット行田大会を開催しました。この大会を通じて、各地の藩校の多くの関係者が、不断の努力と奉仕・報恩の思いで伝承されてきた藩校教育の伝統と精神に基づく活動を学び、認識を深めることができました。

行田は、藩校サミットの参加関係者各位との連携と次に繋がる活動を念頭に、藩校「進脩館」の教育を今後の人づくり、街づくりに活かしていくことを誓います。

私たちは、藩校が果たしてきた役割・精神と伝統を見つめ直し、手を携えながら、自らが「一燈照隅」の想いで出来ることを着実に実行していくこと、日本人の誇りを取り戻すこと、心豊かで明るい我が国と各地域の街づくりに貢献すること、及び次世代と未来に対して責任を負うことをここに宣言します。

▶問い合わせ ひとつくり支援課生涯学習担当 ☎556-8319

第2回行田市CMコンテスト開催決定

本市の魅力伝えるためには、実際に本市を訪れていただき、行田の素晴らしさを肌で感じてもらうことが重要です。昨年開催した第1回行田市CMコンテストに続き、今年も市制施行65周年記念事業として「第2回行田市CMコンテスト」を開催します。入賞作品は行田市のPR動画として活用する他、11月3日(月)に行われる「市制施行65周年・文化の日記念式典」で上映します。また、最優秀賞に選ばれた方(団体)には10万円を贈呈。趣向を凝らしたCMをお待ちしています。



- ▶ **応募資格** 個人または団体のアマチュア・セミプロの方
- ▶ **賞** 【最優秀賞(1点)】賞金10万円、賞状
【優秀賞(2点)】賞金3万円、賞状
【審査委員特別賞(1点)】賞金2万円、賞状
- ▶ **審査結果** 10月中旬に審査を行い、審査結果は応募者全員に通知します。なお、11月3日に行われる「市制施行65周年・文化の日記念式典」で表彰・上映します。
- ▶ **注意事項**
 - ・一人また一団体につき、1作品までの応募とします。
 - ・応募作品は、著作権(画像・音源・出演者)など必要な手続きを済ませてください。また、応募作品は返却しません。

・著作権は受賞者に帰属しますが、行田市は将来にわたり著作物の使用权を無償で使用するものとします。



詳細については、CMコンテスト専用の特設サイトを参照してください。

市ホームページトップページ右上のバナーをクリック

応募方法 9月30日(火)必着までに、60秒程度のCMを収録したCD-RもしくはDVD-R(データ形式は原則として、wmv、mpg、avi形式)を持参または郵送で提出してください。【持参・郵送】〒361-8601 行田市本丸2-5 行田市広報広聴課

観光パンフレットにスマートフォンをかざしてみよう

本市を訪れる観光客の皆さんに行田の魅力伝えるため、AR(拡張現実)技術を活用した魅力発信事業を開始しました。本市の観光パンフレット「お出かけガイド 魅力いっぱい行田」で紹介している観光スポットにスマートフォンをかざすと、動画で観光スポットが紹介されます。写真や文字に加え、映像やナレーションを通して、行田の魅力に触れることができます。



ARってなに?

スマートフォンや携帯タブレットを紙面(パンフレットやポスター)などの特定の場所にかざすと、動画が視聴できるサービスです。

視聴できる動画は5種類!

- ①忍城
- ②埼玉古墳群
- ③古代蓮の里
- ④行田の足袋
- ⑤行田の祭り



閲覧期間 平成27年3月31日(火)まで

スマートフォンで視聴するためには

- ①AR再生アプリ「junaio(ジュナイオ)」をApp StoreまたはGoogle Playストアでダウンロード(無料)してください。
- ②「junaio」を起動し、画面上の「scan」ボタンをタップした後、観光パンフレットの見どころスポットの①~⑤にかざすと、PR動画を見ることが出来ます。アプリ「junaio(ジュナイオ)」のダウンロードには右の二次元バーコードをご利用ください。



▶問い合わせ 広報広聴課広報広聴担当(内線318)

平成26年度セカンドブック20冊はコチラ

題名	作者	出版社
長ぐつをはいたねこ	シャルル・ペロー/原作、ハンス・フィッシャー/ぶん・え	福音館書店
だいくとおにろく	松居直/再話、赤羽末吉/画	福音館書店
ほしになつたりゅうのきば	君島久子/再話、赤羽末吉/画	福音館書店
いっすんぼうし	いしいももこ/ぶん、あきのふく/え	福音館書店
ねむりひめ	グリム/原作、フェリクス・ホフマン/え	福音館書店
こいぬがうまれるよ	ジョアンナ・コール/文、ジェローム・ウェクスラー/写真	福音館書店
宇宙	加古里子/ぶん・え	福音館書店
どうぶつをあしがたずかん	加藤由子/文、ヒサクニヒコ/絵	岩崎書店
でんしゃでいこう でんしゃでかえろう	間瀬なおかた/作・絵	ひさかた チャイルド
からすのパンやさん	かこさとし/作・絵	偕成社
せんたくかあちゃん	さとうわきこ/さく・え	福音館書店
手ぶくろを買いに	新美南吉/作、黒井健/絵	偕成社
スイミー	レオ・レオニ/作、谷川俊太郎/訳	好学社
ひとまねござるときいろいろし	H.A.レイ/文・絵、光吉夏弥/訳	岩波書店
さっちゃんのまほうのて	たばたせいいち/先天性四肢障害児父母の会/ のべあきこ/しざわさよこ 共同制作	偕成社
はじめてのおつかい	筒井頼子/さく、林明子/え	福音館書店
番ねずみのヤカちゃん	リチャード・ウィルバー/さく、大社玲子/え	福音館書店
ふたりはともだち	アーノルド・ローベル/作、三木卓/訳	文化出版局
なぞなぞのすきな女の子	松岡享子/さく、大社玲子/え	学研教育出版
ライギョのきゅうしよく	阿部夏丸/作、村上康成/絵	講談社

❁ 選定の基準 ❁

- ・長い間読みつがれたもの、近年出版された本の中では今後子どもの支持を受ける可能性の高いもの
 - ・絵本・幼年童話・昔話・ことば・詩・日本の作品・外国の作品・科学読み物など、幅広い分野から選定
 - ・親子で楽しめるもの、子どもの読書活動のきっかけ作りとして大人が読み聞かせてほしいもの
- ※セカンドブックは8月31日(日)まで図書館で展示をしています。ぜひ、手に取ってご覧ください。

**家族の絆を深める
セカンドブック**

「自分の子どもにどんな本を選んであげたらいいかな」と迷ったことはありませんか。たくさんある本の中から子どもの年齢にあった本を選ぶことは難しいことです。セカンドブックとして選ばれた本は、読む力や個々の興味に合わせて幅広くそろえられています。そのため、未就学児から小学生まで読んでいただけます。

お気に入りの本と出会えることは、本を読むきっかけになるのはもちろんのこと、家族とのコミュニケーションにもつながっていきます。市では、平成26年3月に「第2次行田市子ども読書活動推進計画」を策定しました。その中で、家族で同じ本を読んだり、本の感想を家族で話し合ったりする「家読」(うちどく)を推進しています。

現在、図書館のセカンドブック閲覧コーナーでは、たくさんのお子さんとその家族が本を手にとって読んでいます。ぜひ、お子さんと一緒に本を選んで読んでみてください。

▶問い合わせ 図書館 ☎ 556-4227

お気に入りの一冊から本の世界は広がります

セカンドブック

小学1年生に「セカンドブックリスト20冊」の中から1冊を選んでもらい、秋の読書週間にプレゼントするセカンドブック事業。この事業は平成24年度からスタートし、今年で3年目を迎えました。ここでは、セカンドブック推進会議のメンバーと昨年セカンドブックをもらった親子にインタビューを行い、この事業に対する“思い”を語っていただきました。

この夏、家族でお気に入りの一冊を探してみませんか。



インタビュー セカンドブックの魅力について語る



親子で楽しめる本に出会えました

鈴木展代さん(下忍)
鈴木康太さん(下忍小2年生)

昨年セカンドブックをもらいましたが、実際に手に本が届いたときはとてもうれしそうな様子でした。もってきた本を開き、すぐに読み聞かせをしてあげると、兄弟で楽しんでいましたよ。とても反応がよかったので、その日のうちに2回読んであげました。セカンドブックは1年生向けの本ですが、本は読む年齢によって読み方が変わるので、成長しても繰り返し読むことができると思います。

ゲームに夢中になりがちだったので、親子で楽しめる本に触れる機会をただけて、とてもありがたいと思います。これでまた本の世界に入るきっかけができたと思います。

セカンドブック選書会議に参加して

小城幸子さん
(行田私立幼稚園PTA連合会会長)



小学1年生というと、まだ1人で本を読むのが苦手なお子さんも多いと思います。読むときに助けになるような絵があるかどうかを注目して選びました。また、「いっすんぼうし」などなじみがある昔話も読みやすいのではないかと思います、20冊の中に入れました。

お子さんが選んだ本は、まず保護者の方と一緒に読んでほしいですね。読み聞かせをしてあげること、本に親しむことができ、自分で何回も読むようになると思います。

セカンドブックで選んだ一冊をきっかけに、図書館などでたくさん本を読んでほしいです。

行財政改革審議官を 委嘱しました

市民の視点からの行財政改革を目的とし、業務改善の方策や事務事業のあり方について提言をいただくために設置している「行財政改革審議官」を、中川由美子氏(門井町)と安住清美氏(藤原町)に委嘱しました。

二人には「ひとの元気・地域の元気・まちの元気」を支える行政サービスのさらなる向上のため、調査・研究に活躍していただきます。

▶問い合わせ 企画政策課企画・改革担当(内線309)



行田市農業委員会委員一般選挙の 当選人が決まりました

第22回行田市農業委員会委員一般選挙については、第1選挙区から第4選挙区までの全ての選挙区において、定数を超える立候補の届け出がなく、無投票となりました。当選人は次のとおりです(所属党派は全員無所属)。

なお、このたび当選した委員の任期は、7月20日から平成29年7月19日までです。

選挙区(定数)	当選人※敬称略カッコ内は地区名
第1選挙区(3)	瀧田孝市(谷郷)、飯田洋治(斎条)、秋山量一(皿尾)
第2選挙区(6)	大関守宏(南河原)、野中實(中江袋)、長谷川浩一(須加)、奥坂政幸(荒木)、吉田勇次郎(酒巻)、國島健一(荒木)
第3選挙区(4)	新井健一(長野)、小菅一男(小針)、鈴木聖司(下須戸)、藤間光治(真名板)
第4選挙区(5)	川崎富夫(埼玉)、田島等(野)、高橋登(樋上)、若山武(城西)、浅野亮介(埼玉)

▶問い合わせ 選挙管理委員会(内線219)または農業委員会事務局(内線390・391)

市では、平成26年3月に行田らしい個性で豊かなまちづくりの実現に向け、「行田らしいまち並みづくり」にぎわい創出基本計画」を策定しました。そこで、歴史的建築物が集積する秩父鉄道行田市駅周辺エリアの「まち並み」と「にぎわい」について、自由に考え、意見を出し合うワーク

「まち並み・にぎわい」 ワークショップを開催します



▶**対象** 該当地区に住んでいる方
▶**その他** 申し込みは不要です。直接会場にお越しください。
▶**問い合わせ** 広報広聴課広報広聴担当(内線318)

▶**家族で話し合っておくこと**
・家族の避難場所や集合場所、連絡先について
・安否確認の方法について
・家の中の安全確認について
・非常用持ち出し品について
※防災安全課で配布しているチェックシート(市ホームページからダウンロード可)をご利用ください。

▶**9月の第1日曜日は「家族防災会議の日」です**
地震はいつ発生するかわかりません。「もしものとき」に備えて、家族で普段から避難場所や安全確認の方法などについて話し合みましょう。

▶**開催日時**
【第1回】8月9日
【第2回】8月23日
【第3回】10月11日
【第4回】11月8日
【第5回】11月29日
※いずれも土曜日、午後6時～7時30分
▶**場所** 市役所305会議室※第3回のみ産業文化会館2階2A会議室
▶**その他** 申し込み不要
▶**問い合わせ** 都市計画課計画担当 ☎550-11550

「市政懇談会」 に参加ください

市では、市民の皆さんの「声」を市政に反映させるため、市政全般についての意見を交換を行う「市政懇談会」を開催します。ぜひご参加ください。

▶**開催日時・場所**

【南河原】8月19日(火)午後7時～8時30分・南河原公民館

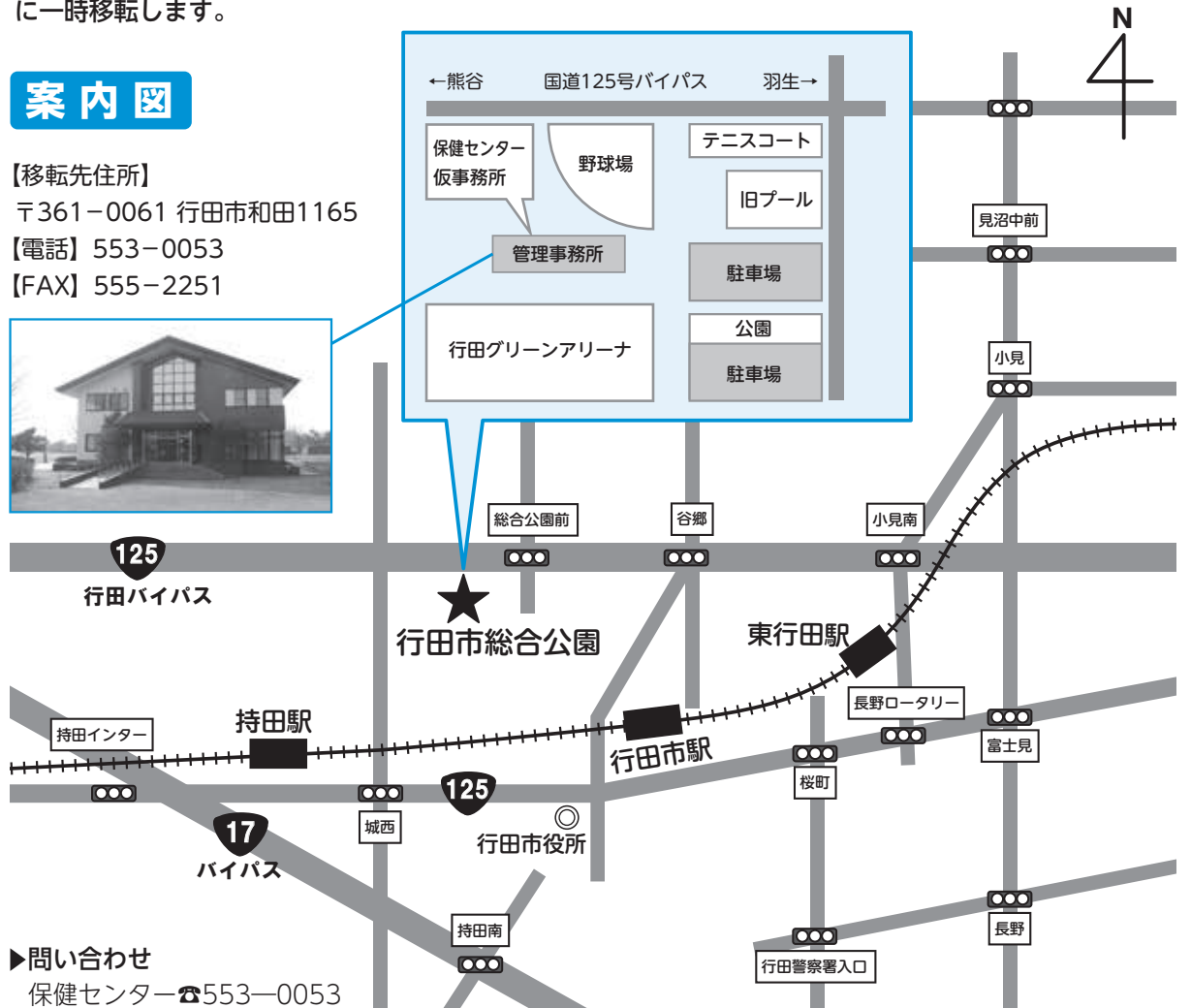
【忍】9月11日(木)午後7時～8時30分・行田公民館

保健センターが一時移転します

保健センターの耐震工事により、9月1日(月)から平成27年3月27日(金)まで、「総合公園管理事務所」に一時移転します。

案内図

【移転先住所】
〒361-0061 行田市和田1165
【電話】553-0053
【FAX】555-2251



▶**問い合わせ**
保健センター ☎553-0053

市内小・中学校にエアコンを設置しました

市では、市内の小・中学校全24校にエアコンを設置する事業を進めており、熱中症予防や快適な学習環境づくりに取り組んでいます。

昨年度は、普通教室279室にエアコンを283台設置し、今年の夏から稼働しています。また、今年度は、理科室や家庭科室などの特別教室に設置する予定です。先生からは、「エアコンが設置されたことで、児童・生徒たちは喜んでます。暑い中での授業に比べると、集中して授業を受けています。そして、聞く姿勢もよくなりました」と、児童・生徒たちの様子を述べていました。



快適な学習環境の中で勉強に励む生徒たち

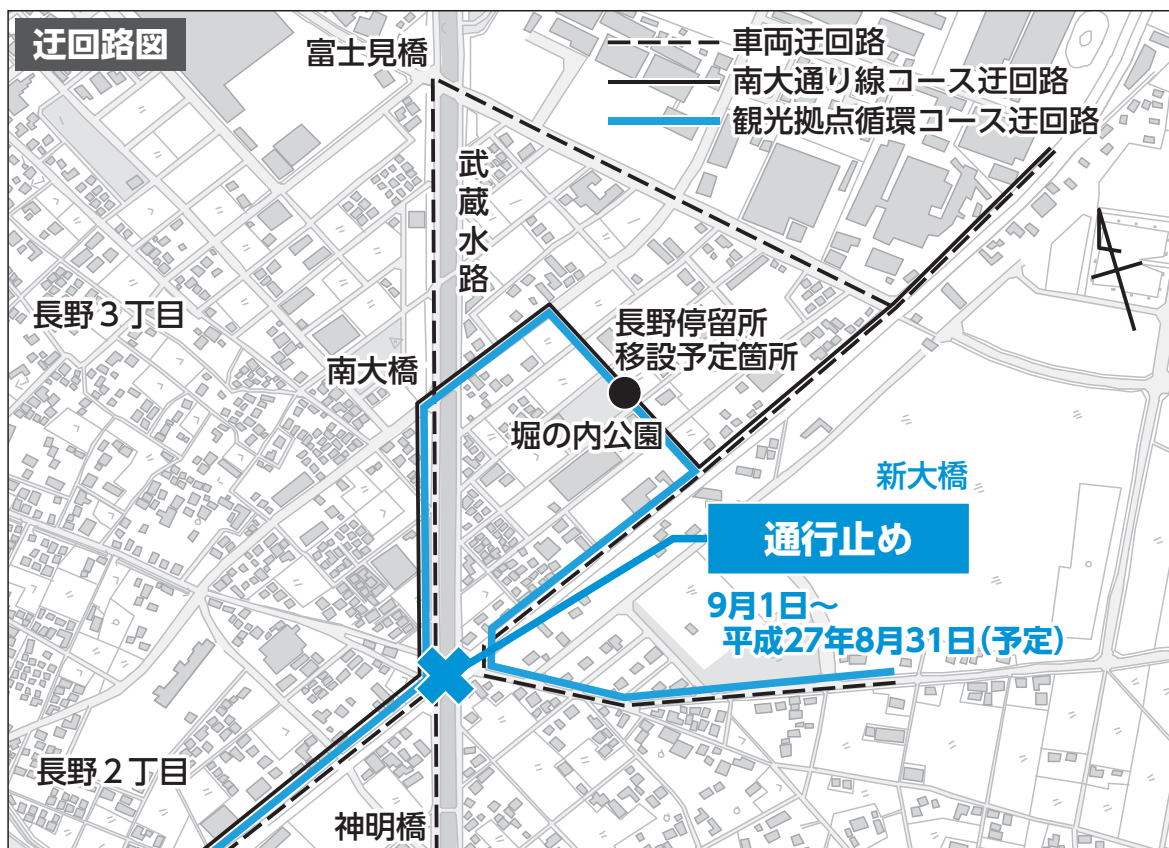
また、今年の夏も節電が求められています。節電および使用電力削減を図るため、小学校6校・中学校4校に「ガス式エアコン」を採用。電気式エアコンに比べると、消費電力を10分の1程度に抑えることができるため、逼迫した真夏のピーク電力削減に貢献します。さらに、エアコンの使用に当たっては、設定温度を28度とし、冷気を効率的に循環させるために扇風機を併用するなど、節電を心掛けています。

▶**問い合わせ** 教育総務課財務施設担当 ☎556-8311

新大橋が通行止めになります

(独)水資源機構では、平成25年度に引き続き平成26年度も武蔵水路を新しくする工事を行います。この工事に伴い、9月1日から平成27年8月31日(予定)までの間、新大橋が通行止めとなります。自動車などで通行する場合は迂回路をご利用ください。

なお、市内循環バスの「南大通り線コース」と「観光拠点循環コース」を下記の図のとおり迂回して運行します。また、南大通り線コースの「長野」停留所を臨時的に移設します(観光拠点循環コースの停留所の変更はありません)。迂回して運行することにより、バスの発着時刻に遅れが生じることもあります。工事期間中はご不便をお掛けしますが、ご理解ご協力をお願いします。



▶問い合わせ 工事については、同機構武蔵水路改築建設所第二工事課☎549-1851
市内循環バスについては、地域づくり支援課くらし安心担当(内線252)

緑のカーテンコンテストを開催します

地球温暖化対策の一環として、家庭や事業所での緑のカーテンの普及を図るため、「行田市緑のカーテンコンテスト」を開催します。

- ▶募集期間 9月1日(月)~30日(火)(土・日曜日、祝日を除く)
- ▶応募資格 市内の住宅、事業所などにツル性植物による緑のカーテンを平成26年4月以降に設置していること
- ▶応募方法 環境課で配布している応募用紙(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入し、緑のカーテンの写真を添付の上、持参または郵送で提出してください。【持参・郵送】〒361-0031 行田市緑町13-12 行田市環境課
- ▶審査方法 応募用紙および写真をもとに、カーテンの生育状況、効果、創意工夫などについて、総合的に審査をします。
- ▶表彰
【家庭の部】優秀賞5点(賞状および記念品)
【団体の部】優秀賞3点(賞状および記念品)

▶発表 結果については、入賞者にのみ連絡※市ホームページに掲載し、取り組み内容を紹介するため、写真データを提供していただく場合があります。

▶その他

- ・緑のカーテンの設置および応募に関する費用は、応募者の負担となります。
- ・応募書類の返却は原則として行いません。
- ・他の類似したコンテストなどに重複して応募できません。
- ・応募者の個人情報は適正に管理します。

▶問い合わせ 同課環境政策担当☎556-9530



平成25年度のコンテストで最優秀賞に選ばれた作品

行田ソーラーウェイ 太陽光発電所の起工式を行いました

行田エコタウンのさらなる創出を図るために進めてきた「長善沼メガソーラー事業」。施設名称も「行田ソーラーウェイ太陽光発電所」に決定し、7月14日から建設工事を開始しました。

着工に際し、建設地である長善沼(荒地内)で、工藤市長をはじめ工事関係者出席のもと起工式が行われ、工事の起工を祝うとともに、無事故・無災害の工事完成を祈願しました。

行田ソーラーウェイ太陽光発電所は平成27年3月末に完成予定で、年間発電量は一般家庭の約720世帯分に相当します。発電所の完成により、再生可能エネルギーを中心とした「創エネ」の取り組みが大きく前進します。

▶問い合わせ 環境課環境政策担当☎556-9530



木造住宅の耐震診断および耐震改修工事をする方に補助金を交付します

市では、木造住宅の耐震診断および耐震改修工事をする方への補助制度を実施しています。内容を確認の上、申請してください。

- ▶対象 昭和56年5月31日以前に着工した一戸建ての住宅および兼用住宅
- ▶補助金額
【耐震診断】診断費用の2分の1(上限5万円)
【耐震改修工事】耐震工事費用の23パーセント(上限20万円)
- ▶注意 申請は診断または改修工事前に行ってください。
- ▶その他 市職員による木造住宅の無料簡易耐震診断も行っていますので、ぜひご利用ください。手続きや詳細な内容については、開発指導課に問い合わせるか、または市ホームページでご確認ください。
- ▶申し込み・問い合わせ 直接または電話で同課建築指導担当☎550-1551

道路などの里親を募集します

市では、行田市道等里親制度を制定しています。この制度は、指定した歩道やポケットパークを「里子」に、ボランティアで清掃や花植えなどをする団体や企業などを「里親」に例え、美化活動を行うものです。

この活動を行っていただける地域の方や学校・企業などの団体を募集していますので、道路の美化活動などに関心のある方は、ぜひご応募ください。

▶市の支援

- ・活動時には、軍手やごみ袋の支給、用具の貸し出し、収集後のごみ処理を行います。
- ・希望する団体には、里子として指定した場所に活動団体名入りの表示板を設置します。

▶申し込み・問い合わせ 直接または電話で道路治水課維持補修担当☎550-1553



不用品情報

市では、資源の有効利用とごみの減量化を図るため、不用品登録制度を実施しています。この制度は紹介制で、紹介後は個人間のやり取りとなります。登録品は無料で登録期間は3カ月です。

なお、円滑な仲介事務を進めるため、不用品登録の際に写真の提供をお願いします。写真を提供していただける方は、ご連絡ください。

さしあげます

- ▷ 幼児用自転車
- ▷ ゴルフクラブセット(女性用)

ゆずってください

- ▷ 大人用自転車
- ▷ ダイニングセット
- ▷ 犬小屋
- ▷ 大人用自転車(折り畳み式)
- ▷ DVDレコーダー
- ▷ 冷風機
- ▷ チャイルドシート
- ▷ ベビーカー
- ▷ ソファベッド
- ▷ キャビネット(鍵付き)
- ▷ こね鉢
- ▷ 蚊帳
- ▷ 男児用自転車
- ▷ 一輪車
- ▷ 鳥かご

▼問い合わせ 環境課環境政策担当☎556-9530
FAX 553-0792

ご存じですか 放課後等デイサービス

放課後等デイサービスは、学校通学中の障害児に対して、放課後や夏休みなどの長期休暇中に生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進など多様なメニューを設け、本人の希望を踏まえたサービスを提供しています。学校と放課後等デイサービスのサービスの一貫性に配慮し、学校と連携・協働しながら支援を行っています。

放課後等デイサービスで行われるサービスは次のとおりです。

▶サービス内容

- ・自立した日常生活を営むために必要な訓練
- ・創作的活動、作業活動
- ・地域交流の機会の提供
- ・余暇の提供

▶対象 学校教育法に規定している学校(幼稚園および大学を除く)に就学している障害児

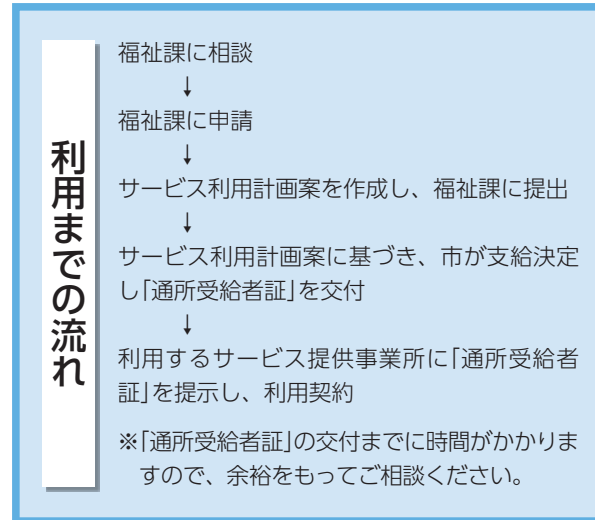
▶費用 サービス利用料の1割を自己負担※世帯の所得により月額負担上限額0円～37,200円が設定されます。

区分	世帯の収入状況	負担上限月額
生活保護	生活保護受給世帯	0円
低所得	市民税非課税世帯	0円
一般1	市民税課税世帯(所得割28万円(注)未満)	4,600円
一般2	上記以外	37,200円

(注)収入がおおむね890万円以下の世帯が対象となります。

▶利用手続き

サービス利用計画の作成および「通所受給者証」が必要になります。事前に下記窓口にご相談ください。



サービス提供事業所一覧

設置者	施設名	住所	電話番号
(特非)CILひこうせん	学童クラブ きらきら	栄町22-5	555-1100
(特非)CILひこうせん	ぴーす	佐間2-1-19	598-4685
(福)福潤の会	レイズアップ	前谷505-3	594-6113
合同会社シティーサポート	行田サポートほほえみ	門井町1-7-1 ローザサマンサ1-A	556-1644

▶問い合わせ 福祉課障害福祉担当(内線265・266)

シルバー人材センターからのお知らせ

公益社団法人行田市シルバー人材センターでは、60歳以上の健康で働く意欲のある方の入会をお待ちしています。

「地域に貢献したい」「健康で生きがいのある生活を送りたい」と思っている方、同センターの会員になりませんか。

▶入会説明会 毎月第1・3木曜日の午前10時から同センター(旭町13-24)

また、次のような仕事を受け付けていますので、気軽にご連絡ください。

- ▶仕事例 刃物研ぎ、植木の剪定、草取りや草刈作業、屋内外の掃除、ふすま・障子・網戸の張り替え、簡単な大工仕事、塗装、各種受け付け、観光ガイド、その他軽作業など

▶問い合わせ 同センター ☎ 556-5221



平成27・28年度建設工事請負等競争入札参加資格審査申請を受け付けます

市が発注する建設工事、設計・調査・測量、土木施設維持管理業務の入札参加資格審査における申請を県および県内63自治体と共同で受け付けます。

▶申込方法

【新規申請】

9月12日(金)～10月10日(金)に郵送

【更新申請】

10月14日(火)～11月14日(金)(建設工事のみの場合は11月28日(金)まで)に埼玉県電子入札共同システムによる電子申請を行い、関係書類を郵送

▶郵送先 埼玉県入札審査課(〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1)※持参不可

▶入札参加資格有効期限

平成27年4月1日～平成29年3月31日

▶その他 詳細は市または県ホームページをご覧ください。

▶問い合わせ 契約検査課契約担当(内線213・214)

子供たちの幸せのために

子育てを応援するため、児童扶養手当などの各種制度を設けています。本制度の利用に当たっては、所得制限や年齢制限がありますのでご注意ください。

児童扶養手当

父母の離婚、死亡などによって、父または母と生計を同じくしていない子どもを育てている方や、子どもを育てている父または母に一定の障害があるときに支給される手当です。新たに申請する場合は、事前に子育て支援課へご相談ください。

【児童扶養手当の受け付け】

児童扶養手当を受給している方および支給停止となっている方に、「現況届の提出について」の書類を郵送しました。必要事項を記入の上、同課に提出してください。提出後、再算定を行い支給額を決定します。

▶申請日時 8月4日(月)～29日(金)午前8時30分～午後5時15分(土・日曜日を除く)

特別児童扶養手当

精神または身体に一定の障害がある20歳未満の子どもを育てている方に支給される手当です。

【特別児童扶養手当現況届の受け付け】

特別児童扶養手当を受給している方に、「現況届の提出について」の書類を8月上旬に発送します。必要事項を記入の上、同課に提出してください。

▶申請日時 8月11日(月)～9月10日(水)午前8時30分～午後5時15分(土・日曜日を除く)

※児童扶養手当・特別児童扶養手当いずれも、申請を受け付けた翌月分から支給の対象となります。

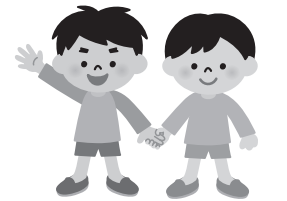
ひとり親家庭等児童養育手当

父もしくは母、または父母の双方がいない義務教育就学中の子どもを養育している方などに支給する手当です。

ひとり親家庭等医療費支給

ひとり親家庭などで子どもを育てている方(養育者を含む)と子どもに対し、医療費の一部を支給する制度です。なお、申請を受け付けた日から支給の対象となります。

▶問い合わせ 児童扶養手当、特別児童扶養手当、ひとり親家庭等児童養育手当については、同課子育て支援担当(内線262)、ひとり親家庭等医療費支給については、保険年金課医療担当(内線226)



「認知症サポーター養成講座」を受講しませんか

「認知症サポーター」は、認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族を見守り、協力する応援者です。認知症の基礎知識を習得し、地域で支えるサポーターになりませんか。

▶受講時間 1時間30分

▶場所 受講者が希望する会場に講師が直接伺います。

▶受講料 無料(テキスト代など一部自己負担あり)

▶その他 受講者には「オレンジリング」(認知症を支える方の目印)と「埼玉県認知症サポーター証」を差し上げます。

▶申し込み・問い合わせ 複数名(1人での受講は不可)で直接または電話で高齢者福祉課地域支援担当(内線278)



浮き城先生を募集します

市では、少人数学級実施に当たり、子どもが好きで教えるのが大好きな先生を募集します。

▶募集人数 市内の小・中学校に常勤する教諭…20人程度※学級編制により変動あり

▶募集要件 小・中学校の教員免許状を取得している方(平成27年3月31日までに当該免許を取得見込みの方も可)で、昭和54年4月2日以降に生まれた方

▶募集要項 市ホームページからダウンロードしてください。学校教育課または人事課でも配布します。※郵送希望の場合は140円切手を貼り、郵便番号と宛先を明記した返信用の角型2号封筒を同封の上、学校教育課(〒361-0052 行田市本丸2-20)まで

▶応募締め切り

【窓口受付】10月9日(休)午後5時まで

【郵送受付】10月9日(休)(必着)

▶試験日

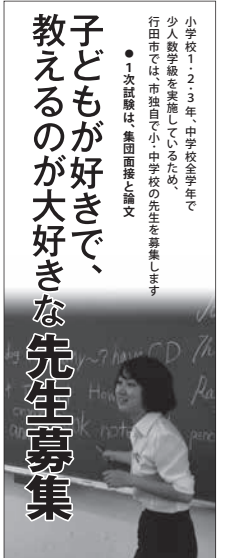
【1次試験】10月18日(出)

【2次試験】11月29日(出)

▶任用期間 平成27年度の1年間

▶待遇 本市規定により、埼玉県費負担教職員と同程度の給与を支給します。また、福利厚生は公立学校共済組合埼玉支部、一般財団法人埼玉県教職員互助会に加入します。

▶問い合わせ 同課学校教育改革担当 ☎ 556-8316



行田市火災予防条例が一部改正されました

平成25年8月に京都府で行われた花火大会の会場で発生した火災により、死者3人、負傷者59人を出す事故が起きました。この事故を踏まえ、市では、祭りや展示会など一時的に不特定多数の人が集まる催しの防火管理体制をさらに強化するために、「行田市火災予防条例」の一部を改正し、8月1日(金)から施行しました。改正した内容は次のとおりです。

- ▶ **内 容** コンロ、グリドル、ストーブ、発電機などの火気器具を使用する露店などを開設する場合
- ① 消火器の準備が必要となります
 - ② 消防署へ露店の開設届け出が必要となります

下記の※対象火気器具などを使用する露店などを開設する場合



▶ **問い合わせ** 消防本部予防課 ☎550-2122

防災用資機材の登録制度をご利用ください

市では、平成25年1月から防災用資機材の登録制度を開始しています。この制度は、市内で災害が発生した(発生の恐れのある)場合、自主防災組織や自治会が地域にある防災用資機材を活用し、より速やかな初期活動を行えるようにしたものです。

ご家庭や事業所において、防災用資機材として活用できるものがありましたら、ぜひ登録してください。

- ▶ **登録資格**
- ・市内在住の方
 - ・市内に店舗、営業所、事業所を有する方または法人
- ▶ **登録できる資機材**
- ・発電機
 - ・車両(トラックや軽トラックなど)
 - ・その他、水中ポンプや災害時において活用できる資機材
- ▶ **登録方法** 防災安全課で配布している行田市防災用資機材登録・変更届(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入の上、持参または郵送で提出してください。【持参・郵送】〒361-8601 行田市本丸2-5 行田市防災安全課
- ▶ **その他** 災害復旧(支援)活動時に使用した燃料や災害活動により破損した場合の修繕は、市が負担します。
- ▶ **問い合わせ** 同課防災担当(内線282)

8月は「差別を許さない市民運動推進強調月間」です ～差別のない明るい人権尊重社会を目指して～

市民一人ひとりが人権問題を正しく理解し、「差別を許さない」という意識を高めるとともに、人権に対する配慮が行動に表われるような人権感覚を身に付けてもらうため、市では次の人権啓発や相談事業などを実施しています。

人権・同和問題地区別研修会の開催

全市民を対象に、差別の根本的解決に向けた研修会を行っています。この研修会は、人権・同和問題についての理解、さらには問題認識の再確認をする場として実施するものです。また、人権を尊重し、痛みの分かる人権の推進者を育てることを目的に、継続して実施しています。

実施に当たっては、市内各地区の人権教育推進協議会、公民館、自治会、老人クラブなどさまざまな団体の協力をいただいで開催しています。各地域の研修期日などについては、各公民館および自治会などに問い合わせください。

一人でも多くの皆さんの参加をお待ちしています。

人権を守るために

いじめや虐待・差別・プライバシーの侵害など日常生活でお困りの方のために、人権擁護委員による相談窓口を開設しています。一人で悩まず、気軽にご相談ください(相談日時・会場は人権推進課にお問い合わせください)。この他、人権リーフレットを配布したり、市ホームページを活用したりするなど、憲法で保障された全ての人の人権が守られるよう、あらゆる機会を通じて啓発活動を行っています。

人権ダイヤル
☎0570-003-110
子どもの人権110番
☎0120-007-110
※いずれも月～金曜日の
午前8時30分～午後
5時15分(祝日を除く)



▶ **問い合わせ** 同課人権同和对策担当(内線221)

▼ **お問い合わせ** 同課業務担当 ☎564-0303 (前谷1-1・水道庁舎内)

▼ **お問い合わせ** 同課業務担当 ☎564-0303 (前谷1-1・水道庁舎内)

下水道事業受益者負担金をお支払いの方へ

▼ **お問い合わせ** 開発指導課建築指導担当 ☎550-1551

第1期納期限 8月27日(水)

受益者負担金は、下水道供用開始となった時点で、使用の有無を問わず土地の面積に応じて賦課されます。この負担金の納付には便利な口座振替をご利用ください。また、期限内の納付が困難な場合は、納付相談をご利用ください。

なお、負担金賦課区域内の土地で売買・相続などにより受益者の変更があった方は、下水道課までご連絡ください。

▼ **お問い合わせ** 郷土博物館 ☎554-5911

9月2日(火)～5日(金)は、館内の消毒のため休館となります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

郷土博物館休館のお知らせ

▼ **お問い合わせ** 行田市観光協会(商工観光課内・内線382)

▼ **日時** 8月16日(土)午後7時～8時30分

▼ **場所** 忍川翔栄橋付近(秩父鉄道行田市駅北側)

▼ **その他** 小型灯籠を一基800円で頒布します。また、行田音頭保存会による新行田音頭を披露します。

行田の情報をメールで「ふるさとメール」で 行田の情報をゲット

市では、行田の情報をEメールで無料配信する「行田市ふるさとメール」(メールマガジンサービス)を実施しています。

このメール配信は、「市報ぎょうだ」に掲載した催し・募集などの市からのお知らせに加え、埼玉新聞に掲載された本市のニュースなどを毎月1回提供しています。

登録方法は、市または埼玉新聞社のホームページにアクセスするか、次の二次元バーコードを携帯電話で読み取って申し込みください。

▶ **問い合わせ** 広報広聴課広報広聴担当(内線318)

ご協力ください 行田市民意識調査を実施します

市では、市民の皆さんが行田市に対して普段どのように考えているかを把握し、各種行政施策の基礎資料とするため、「行田市民意識調査」を実施します。この調査は、「まちの暮らしやすさ」「地域との関わり」「今後のまちづくり」などをお聞きするもので、回答は無記名で行い、統計的に処理しますので、お答えいただいた方は特定されません。

市民の皆さんの「声」を市政に反映させるための取り組みです。調査票が自宅に届きましたら、ご協力をお願いします。

▶ **調査期間** 8月8日(金)～22日(金)

▶ **調査対象** 住民基本台帳(平成26年8月1日現在)から無作為に選ばれた満20歳以上の市民の方3,000人

▶ **その他** 同封の返信用封筒を利用の上、ご回答ください。

▶ **問い合わせ** 広報広聴課広報広聴担当(内線318)

予防接種は、お済みですか

予診票のない方は母子健康手帳を持参の上、保健センターにお越しください。

予防接種名／接種回数	対象(無料で接種できる年齢)
ヒブ／初回3回、追加1回※1	生後2カ月～5歳未満
小児用肺炎球菌／初回3回、追加1回※1	生後2カ月～5歳未満
B C G／1回	生後3カ月～1歳未満
三種混合または四種混合／初回3回、追加1回	生後3カ月～7歳6カ月未満
不活化ポリオ／初回3回、追加1回※2	生後3カ月～7歳6カ月未満
麻しん風しん混合【第1期】／1回	1歳～2歳未満
麻しん風しん混合【第2期】／1回※3	平成20年4月2日～平成21年4月1日生まれの方※1
日本脳炎【第1期】／初回2回、追加1回※4	3歳～7歳6カ月未満※4
日本脳炎【第2期】／1回	9歳～13歳未満※4
二種混合／1回	11歳～13歳未満

※1 接種開始年齢などにより、接種回数は異なります。
 ※2 生ポリオで2回接種している方は除きます。また、生ポリオで1回接種している方は、初回2回、追加1回になります。
 ※3 平成27年3月31日(火)までに接種を受けてください。
 ※4 日本脳炎予防接種は、一時見合わせていたことにより、平成7年4月2日から平成19年4月1日生まれの方のみ20歳未満まで接種できます(7歳6カ月から9歳までの間も接種可)。
▶注意 三種混合予防接種ワクチンが少なくなっています。接種が終了していない方は、速やかに接種することをお勧めします。

気になるドキドキ! 心臓の講座 ～心臓の病気、ちゃんと 知っていますか～

心筋梗塞、狭心症などの心臓の病気は、早期発見と早期治療が第一。でもそれよりも大切なのは、心臓の病気にならないように予防することです。大事な心臓について学んで、自分の心臓を守りましょう。

日 時 9月2日(火)午後2時～3時30分
(午後1時45分から受け付け)
場 所 商工センター 403研修室
内 容 医師の講話
対 象 市内在住の方
定 員 30人(先着順)
受 講 料 無料
持 ち 物 健康手帳、筆記用具
申し込み 8月26日(火)までに直接または電話で保健センター

血液サラサラ教室 ～今からできる予防と改善法～

「血液ドロドロ」を放っておくと、心疾患や脳血管疾患を引き起こす危険性が高くなります。この教室では、「血液ドロドロ」の原因となる脂質異常症や高血圧症の予防・改善法を学びます。

日 時	場 所	内 容
9月16日(火) 午後2時～3時30分	[行田グリーン アリーナ]研修室	医師講話「脂質異常症、高血圧 症の予防と改善について」
10月1日(水)または2日(木) の午前9時30分～正午	VIVAぎょうだ 調理室	栄養講話・調理実習 「簡単! サラサラクッキング」

※2日間で1コース
 ※2日目は同じ内容です。選択の上、申し込みください。
対 象 市内在住の方
定 員 20人(2日目のみ)※先着順
費 用 300円(2日目調理実習食材費)
持 ち 物 健康手帳、筆記用具、2日目はエプロン、三角巾、スリッパ
申し込み 8月15日(金)から直接または電話で保健センター



▼問い合わせ
 企画政策課統計担当
 (内線310)

また、統計調査により集められた個人情報「統計法」により保護されており、調査票の記入内容を漏らすなど、統計法に規定された目的以外に使用することは固く禁じられています。

調査地域の世帯を確認するため、事前に調査員が各世帯を訪問しますので、ご協力をお願いいたします。なお、調査員は埼玉県知事が発行した「調査員証」を携帯しています。

平成26年全国消費実態調査 が実施されます

9月から11月にかけて平成26年全国消費実態調査が実施されます。

この調査は、国民生活の実態を家計の所得、消費、資産の3面から総合的に把握することを目的とし、全国の世帯から統計的な方法に基づいて選定された世帯を対象に行われます。調査の結果は、生活保護基準や年金給付水準の検討、高齢者対策といった国の政策の基礎資料として利用されるだけでなく、地方公共団体の福祉行政、消費者行政など地域社会のためにも利用されます。



保 健 案 内

保健センター
 長野2-3-17
 TEL:553-0053
 FAX:555-2551



子どもの健康

乳幼児健診

健 診 名 4カ月児健診、1歳6カ月児健診、2歳児
 歯科健診、3歳児健診
場 所 8月までは保健センター、9月以降は行田
 グリーンアリーナ研修室・会議室
そ の 他 転入されたお子さんと、前住所地で受診して
 いない方は保健センターにご連絡ください。

乳幼児相談(要申し込み)

日 時 9月9日(火)午前9時30分～11時
場 所 総合公園管理事務所
対 象 小学校入学前のお子さん

離乳食教室(初期)(要申し込み)

日 時 9月9日(火)午前10時30分～11時30分(午
 前10時15分から受け付け)
場 所 総合公園管理事務所
対 象 平成26年3月15日～4月14日生まれの
 お子さんがある方

※いずれも場所は保健センター

おとなの健康

こころの相談(要申し込み)

日 時 8月27日(水)
 ※時間は申し込みの際にお知らせします。
場 所 保健センター
対 象 いつも不安、夜眠れない、生活のリズムが
 乱れている、自分の性格や人間関係に悩ん
 でいる、飲酒量が多くやめられないなど、
 こころに悩みのある方
そ の 他 随時、電話での相談も受け付けます。

歯ッピ-教室

幼児期に乳歯を健康に保つことは、お子さんの将来の歯の健康にとっても大切です。この教室では、虫歯予防の話と歯みがきのコツをお伝えします。

日 時 8月21日(木)午後1時30分～2時30分
場 所 保健センター
対 象 市内在住で、歯に関心のある乳幼児とその
 保護者
定 員 20人(先着順)
そ の 他 ・親子のよい歯のコンクールの表彰式を午
 後1時から行います。参加者で時間のあ
 る方はお越しください。
 ・保育の必要な方は、申込時に伝えてください。
申し込み 8月6日(火)から直接または電話で保健センター

休日急患診療

期 日	医療機関名	期 日	医療機関名
8月17日(日)	壮幸会行田総合病院	9月7日(日)	壮幸会行田総合病院
8月24日(日)	清幸会行田中央総合病院	9月14日(日)	壮幸会行田総合病院
8月31日(日)	壮幸会行田総合病院		

・診療科目……内科、小児科、外科
 ・診療時間……午前10時～午後5時
 ※医療機関が変更されることがありますので、事前
 に問い合わせください。
 ・清幸会行田中央総合病院 ☎553-2000
 ・壮幸会行田総合病院 ☎552-1111
 ◇夜間などの急病やけがで受診できる医療機関を知り
 たいとき
 ・行田市消防署 ☎550-2123
 ・埼玉県救急医療情報センター ☎048-824-4199
 ◇埼玉県小児救急電話相談「#8000」
 ・県内どこからでも「#8000」をプッシュすると相談
 窓口につながります(携帯電話可)。
 ・相談時間【月～土曜日】午後7時～翌日午前7時
 【日曜日、祝日】午前9時～翌日午前7時

ママ・パパ教室

これからママ・パパになる方を対象に、楽しく友達
 づくりをしながら妊娠・出産・子育てについての教室
 を行っています。ぜひご参加ください。

日 時 ・9月11日(木)午前10時～午後2時30分(受
 け付けは午前9時30分～9時45分)
 ・9月26日(金)午後1時～4時(受け付けは
 午後0時45分～1時)
 ※2日間で1コース
場 所 VIVAぎょうだ
内 容 妊娠中と産後の生活の話、子どもの手続き
 について、簡単な調理実習、妊娠中と赤ちゃ
 んの歯の健康、子どもの成長と育児の話、
 沐浴実習 など
対 象 妊婦とその家族(内容は初妊婦向けです。
 既にお子さんがある方でも、教室の人数に
 余裕がある場合は参加できます)
定 員 20人(先着順)
注 意 妊娠初期(15週まで)と妊娠後期(28週以
 降)の方は体調が変化しやすいため、安定
 期に入った妊娠中期(16週～27週)の方
 の参加をお勧めします。
申し込み 9月4日(木)までに直接または電話で保健セ
 ンター

図書館だより

市立図書館 佐間3-24-7(「みらい」内) TEL:556-4227 FAX:555-3770

開館時間 午前9時30分～午後7時
休館日 8月4日(月)・11日(月)・18日(月)・25日(月)、
9月1日(月)・2日(火)・8日(月)
※休館中の圖書の返却はブックポストをご利用ください。

新着図書

- ・戌亥の追風(山本一力/著)
- ・皇后美智子さまのうた(安野光雅/著)
- ・PTAをけっこうラクにたのしくする本(大塚玲子/著)
- ・そとごはん(ヘレン・オクセンバリー/作・絵、谷川俊太郎/訳)
- ・ほしをもったひめ(八百板洋子/文、小沢さかえ/絵)
- ・ダーウィンが見たもの(ミック・マニング/作、ブリタ・グランストローム/作、渡辺政隆/訳)



ボランティア募集

図書館の活動を支えていただけるボランティアを募集しています。皆さんが利用しやすい図書館づくりにご協力ください。

- ▶活動時間 開館日または館内整理日の午前8時30分から午後4時までの時間中
- ▶内容 書架の整理、返却本を書架へ戻す作業
- ▶対象 18歳以上の方(高校生を除く)
- ▶申し込み 図書館で配布している行田市立図書館ボランティア申込書に必要事項を記入し、同館カウンターに提出してください。

おはなし会

- ▶日時 8月20日(水) 午前10時30分～11時
- ▶内容 絵本、パネルシアターなど
- ▶対象 2、3歳児と保護者
- ▶日時 8月23日(土) 午前11時
- ▶内容 絵本や手遊びなど
- ▶対象 幼児
- ▶主催 おはなしタンバリン
- ▶日時 9月6日(土) 午後2時
- ▶内容 絵本など
- ▶対象 幼児・小学生
- ▶主催 おはなしの会
- ▶日時 9月13日(土) 午後2時
- ▶内容 絵本や紙芝居など
- ▶対象 幼児・小学生
- ▶主催 おはなしポケット

※場所は、いずれも図書館おはなしのへや

読み語りの会

- ▶日時 9月10日(水) 午後2時
- ▶場所 図書館ミーティングルーム
- ▶内容 詩やエッセイなどの朗読
- ▶主催 おしゃべりインコの会

定例子ども映画会

- ▶日時 8月16日(土) 午後2時
- ▶場所 中央公民館映像ホール
- ▶題名 もったいないばあさんと考えよう世界のこと(42分)
- ▶定員 80人(先着順)
- ▶入場料 無料

英語児童書読み聞かせ会

- ▶日時 9月14日(日) 午前11時
- ▶場所 おはなしのへや
- ▶内容 英語による絵本の読み聞かせや歌あそびなど
- ▶対象 英語に興味がある方
- ▶協力 ハートイングリッシュスクール

※変更となる場合もあります



ブックスタート

4カ月児健診に合わせ行田グリーンアリーナで絵本を配布しています。

- ▶日時 9月4日(水) 午後1時受付開始
- ▶持ち物 母子健康手帳

移動図書館巡回日程

埼玉小	9月5日(金)
北河原小	9月9日(火)
須加小	9月10日(水)
泉小	9月11日(木)
太田西小	9月12日(金)

※変更となる場合もあります

文化振興基金助成事業を受け付けます

埼玉県では、アマチュア文化団体やNPOが自主的・自発的に行う文化活動を支援するための助成事業を行っています。

今年度も、団体などに対する助成事業を受け付けます。

▶助成事業

- ①12月～平成27年3月に、アマチュア文化団体が実施する文化活動(活動成果の発表など)
- ②12月～平成27年3月に伝統・郷土芸能団体が実施する伝統・郷土芸能用具の備品整備、後継者育成など
- ③11月～平成27年3月に文化団体やNPOなどが実施する子どもを対象とした文化芸術の体験教室や文化芸能を担う若手人材の発掘・育成を目的としたワークショップなど

- ▶助成額 ①対象経費の2分の1以内(上限25万円) ②③対象経費の20万円以内

- ▶申し込み 9月1日(月)～22日(月)(消印有効)に、所定の事業計画書(県ホームページからダウンロードもしくは埼玉県文化振興課で配布)を郵送で同課に提出【郵送】〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 埼玉県文化振興課※希望者には同事業申請の手引きを送付します。

- ▶問い合わせ 同課文化振興担当 ☎048-830-2887

9月1日から10日までは屋外広告物適正化旬間です

～屋外広告物にはルールがあります～

広告板や立看板などの屋外広告物は、私たちにさまざまな情報を提供するとともに、まちの活気やにぎわいを演出します。しかし、無秩序な設置により景観が損なわれたり、管理が不十分であることにより人々に危害を及ぼしたりする恐れがあります。

埼玉県屋外広告物条例では、良好な景観の形成と公衆に対する危害の防止を目的に、設置に当たっての許可基準を定めています。屋外広告物を設置しようとする方や屋外広告物の設置場所を提供する方は、適正な広告物の設置にご協力ください。

- ▶問い合わせ 管理課管理担当 ☎550-1552

今月の納税

- 市県民税・・・・・・・・・・2期
- 国民健康保険税・・・・・・・・・・2期
- 介護保険料・・・・・・・・・・2期
- 後期高齢者医療保険料・・・・・・・・・・2期

納期限 9月1日(月)

市税の納付には、「安心! 確実! 便利!」な口座振替をご利用ください。

各種相談 (8月15日～9月14日)

相談	場所	期日	時間	問い合わせ
法律(予約制)	産業文化会館2階会議室	8月26日(火)、9月11日(水) ※予約はその月の1日から(土・日曜日、祝日の場合は翌日)	午前9時20分～正午	
行政	市役所306会議室 産業文化会館2階会議室	8月18日(月) 9月1日(月)	午後1時30分～3時30分	地域づくり支援課(内線252)
消費生活多重債務	市役所	毎週月～金曜日(祝日を除く)	午前9時30分～午後3時30分	
相続、遺言、離婚、日常生活の困り事	VIVAぎょうだ	9月10日(水)※予約制	午後1時～5時(受け付けは午後4時まで)	埼玉県行政書士会 埼玉支部 ☎554-2702
夫婦関係・DVなど(予約制)	VIVAぎょうだ	毎週木・土曜日 ※各土曜日は市内在住の方対象に電話相談も受け付けます	午後1時～4時(電話相談は午後1時～2時)	VIVAぎょうだ ☎556-9301
内職	市役所	毎週月～金曜日(祝日を除く)	午前9時～午後5時	商工観光課(内線383)
人権	地域交流センター	9月10日(水)	午後1時30分～3時30分	人権推進課(内線221)
税務(予約制)	関東信越税理士会行田支部(市役所前)	毎週水曜日(祝日を除く)※予約受け付けは毎週月・水・金曜日(祝日を除く)の午前10時30分～午後3時30分	午後1時～4時	関東信越税理士会 行田支部 ☎554-1411
水道料金の休日納付	水道庁舎(前谷)	9月7日(日)	午前8時30分～正午	水道課 ☎553-0131
水道料金の夜間納付	水道庁舎(前谷)	8月19日(火)・26日(火)、 9月2日(火)・9日(火)	午後5時15分～7時	

放射線量の測定値

・測定箇所 行田消防署本署地内
7月18日(金) 午前9時 0.01マイクロシーベルト(曇り) 午後3時 0.09マイクロシーベルト(曇り)

今年も盛大に行われた蓮まつり

7月13日、古代蓮の里で第17回行田蓮まつりが開催され、早朝から多くの人でにぎわいました。

会場には、友好都市の福島県白河市や健康づくり協定を結んでいる群馬県上野村の観光物産をはじめ、さまざまな模擬店が並び、ステージイベントと共に祭りを盛り上げました。また、蓮もちや蓮粥、蓮茶も振る舞われ、来場者は味覚でも蓮を堪能することができたようです。古代蓮の見頃は8月上旬までです。少し早起きして、幻想的な花を咲かせる蓮の魅力を感じてみませんか。



優勝目指して

6月28日、行田グリーンアリーナで第24回行田市綱引き大会が行われ、低学年・中学年・高学年の部に、56チーム・527人の児童が参加しました。

優勝目指して力の限り綱を引き、白熱した試合を繰り広げる児童たち。熱のこもった試合に呼応するかのように、観客の応援も力が入っていました。この大会にチーム全員の気持ちを一つにして臨んだことが、児童たちにとってきっと忘れない思い出となったことでしょう。



短冊に願いを込めて

7月7日、前谷農村センターで行われた「いきいきサロン」で、前谷地区在住の高齢者の皆さんが七夕の飾り付けに参加しました。

同センターの玄関前には、七夕馬が飾られ雰囲気を出しています。この七夕馬は同地区在住の加藤隆弘さんが作成したそうです。自分の願い事を書いた短冊を笹の葉に飾った参加者は、「まるで童心に戻ったみたい」と笑顔を浮かべていました。



きれいなまち行田のために

7月6日、「下長野古代蓮の里通線清掃ボランティア」の皆さんが、市の都市計画道路「古代蓮の里通線」の清掃美化活動を行いました。

古代蓮の里を訪れる観光客の皆さんに「行田はきれいなまちだね」と思ってもらえるよう、長野地区の白山区自治会、大下区自治会、新田区自治会の3自治会が母体となってボランティアを結成。平成18年から年2回、清掃活動を実施しています。歩道の清掃や除草作業など約1時間かけて行ったボランティアの皆さんは、今年も古代蓮の里に多くの観光客が訪れ、気持ちよく過ごしていただければと話していました。



写真館

GYODA CITY PHOTO STUDIO

「伝統芸能(狂言)」の魅力満喫

6月29日、産業文化会館ホールで「万作の会 狂言 行田公演」が行われました。

この公演は昨年に引き続き2回目。今回は、野村萬斎さんの父であり人間国宝の野村万作さんが出演しました。初めに萬斎さんが演目「佐渡狐」と「棒縛」のあらすじや見どころについて、分かりやすく解説。その後、万作さんや萬斎さんら出演者が狂言を披露し、滑稽なせりふやしぐさで観客の笑いを誘いました。この公演を鑑賞した誰もが、伝統芸能である狂言の魅力を感じることができ、有意義な時間を過ごすことができました。



「VIVAぎょうだ」は創立7周年を迎えました

6月29日、創立7周年を迎えた男女共同参画推進センターVIVAぎょうだで「VIVAぎょうだフェスティバル」が開催されました。

この催しは、男女共同参画週間に合わせて行われたものです。会場では「デートDVとは何か」について解説したパネルを展示。また、護身術講座、アロマテラピー体験など盛りだくさんの内容でイベントを盛り上げました。このイベントを通じて、VIVAぎょうだのさらなる身近な施設となったことでしょうか。



蓮が友好の架け橋に

6月25日、新潟県上越市の「花いっぱい上越」のメンバーの皆さんが古代蓮の里を訪れました。

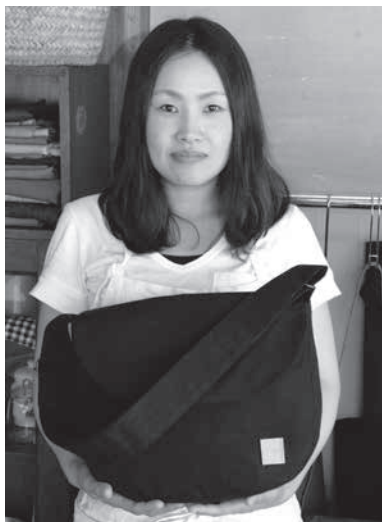
今年の4月、行田蓮とアメリカ黄蓮を掛け合わせて生まれた品種「甲斐姫」を、「東洋一の蓮」と呼ばれている上越市の高田公園に寄贈したことをきっかけに上越市との交流が始まったものです。当日は、行田市蓮の大使を務める木暮照子さんがメンバーの皆さんを出迎え、古代蓮の里や園内に咲くさまざまな蓮花の説明などを行いました。これからも上越市の皆さんとの交流が、蓮を通して積極的に行われることでしょうか。





帆布生地でオリジナル バッグ作りに励むアーティスト

中村 由香利さん (長野)



かつて足袋・被服商であった牧植商店の工場として、主に使用されていた牧植舎。NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワークが改装し、今年の4月にアーティストシェア工房として生まれ変わりました。今月は、6月から牧植舎でオリジナルのバッグ作りに励んでいる女性アーティスト「Ba.」こと、中村由香利さんを紹介いたします。

「幼いころ、母や祖母が自宅にあるミシンで手作りの洋服を作ってくれました」と語る中村さん。身に付けていた洋服のほとんどが、手作りによるものだったそうです。そんな母や祖母のミシンを踏む姿勢に影響を受け、自宅にあった足踏みミシンでよく遊んでいました。

高校卒業後はアパレルショップの販売員として就職し、洋服を売る仕事をしていましたが、「服を売るより、自分で作ってみたい」という思いから3年で退職し、服飾専門学校に入学。専

門学校で洋服を作るための基本的な知識や技術を一から学びながら、古着屋でも働き、古着のリメイクを担当していたそうです。「学校で学んだことをすぐに職場で試すことができ、古着ならではの色使いやデザインに触れたことで、感性を磨くことができました。学校に通いながら働くことは大変でしたが、毎日が充実していましたよ」と当時のことを語ってくれました。

専門学校卒業後、中村さんはバッグ作りにも挑戦しました。本格的にバッグ作りを手掛けるようになったのは、5年前のこと。古着屋のオーナーの妻から「私が経営するカフェで、作ったバッグを売ってみたいか」と勧められたのです。それ以来、カフェ店に限らず、県内外の手作りのものが数多く販売されるクラフトフェアにも出展するようになりました。

現在、中村さんが制作しているバッグは帆布製のもが中心です。帆布製バッグの魅力を「軽しいし、使えば使うほど味が出ます。服に合わせてやすく、コーディネートアクセントにもなりますよ」と教えてくれました。今後は帆布生地だけでなく、さまざまな素材を組み合わせて作品を作っていく予定です。

「私が作ったバッグをクタクタになるまで使ってくれたら作家冥利に尽きますね」とほほ笑む中村さん。これからも日々の暮らしをイメージしながら、年代を問わず使ってもらえるようなオリジナルのバッグを一つ一つ丁寧に仕上げしていきます。

はじめまして

★★★ 平成25年 8月生まれのおともだち ★★★

平成25年10月生まれのお子さんを募集します

○8月1日(金)～29日(金)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)
 ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
 ○応募者多数の場合は、9月2日(火)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



安岡 徳祈ちゃん(榎田町)
 平成25年8月21日生まれ
 父・裕司さん 母・由樹子さん
 「幸せをありがとう♡」
 毎日笑顔で♡



佐藤 美月ちゃん(埼玉)
 平成25年8月28日生まれ
 父・洋一さん 母・綾子さん
 「兄妹♡いつまでも仲良く♡」
 「本当にありがとう!」



森山 璃久ちゃん(埼玉)
 平成25年8月7日生まれ
 父・智之さん 母・裕美さん
 「生まれてきてくれて
 本当にありがとう!」



坂村 実理ちゃん(本丸)
 平成25年8月9日生まれ
 父・理則さん 母・さおりさん
 「みりのおおきあゆみを」



伊東 和真ちゃん(谷郷)
 平成25年8月11日生まれ
 父・崇行さん 母・美保さん
 「いつも笑顔で
 元気な子に♡」



大谷 凌平ちゃん(富士見町)
 平成25年8月25日生まれ
 父・光徳さん 母・久美子さん
 「兄ちゃんと共に
 健やかに大きくなあれ!!」

ぎょうだの会社を クローズアップ!!

朝日食品工業株式会社

安全・安心・健康を兼ね備えた豆腐を追求し続ける



会社プロフィール

代表取締役社長 中野 高雄
 【事業内容】豆腐、油揚げ、豆腐加工品の製造、販売

健康の維持増進に効用のある食品として、世界中で注目されている豆腐を製造している朝日食品工業株式会社。今年6月には、韓国、アメリカ、中国に工場を持つている韓国のブルモン社と業務提携を行い、業界世界一の生産規模となりました。

昭和47年4月、同社は利根川と荒川に挟まれ、豊かな水資源がある本市で豆腐の製造を開始しました。その7年後には「おいしさ」「安全・安心・健康」を兼ね備えた商品を開発するため、独自の研究所を設立し、世界中の大豆を調査して、豆腐に最も適した大豆を厳選しています。

同社の特徴は、お客さまの立場に立ち、緻密なマーケティングを行っていること。家族構成の変化や時代の流れを捉え誕生した業界初の「2連豆腐」は、今ではおなじみとなっていますが、販売当初は、「2個に分けてあるので、余った豆腐を捨てなくて済む」と大人気だったそうです。また、「ALPSシ

ステム」「無菌システム」といった新製法で、豆腐のおいしさを長期間保存することに成功。最近では同社独自の酸化抑制技術である「ナチュラルアクア製法」により、大豆本来の甘みとコクを引き出し、従来よりも圧倒的においしい豆腐を食卓に提供できるようになりました。また、調理をしなくてもすぐに食べられる味付きの豆腐や、味噌だれ、あんかけなどのたれを付けた商品も次々に開発し、忙しい毎日を過ごしている人の強い味方となっています。

「安心安全でおいしくて健康によい製品を作っていくことはもちろんのこと、今後は女性の社会進出など、時代の変化をとらえた商品を積極的に生み出していきたいですね」と工場長の上原さんは意気込みを語ります。24時間休まず稼働し、1日約20万食の豆腐を製造する同社。これからも、高い技術力と製品開発力を発揮し、世界中の人々の健康と豊かな生活を願い、製品作りは続きます。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。
 ◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で
 広報広聴課へご応募ください。

- | | | | |
|-----------------|------------|-----------------|-----------|
| 俳句 | 荒木 森田 静 | 咲き伝う太古のロマン蓮の花 | 城西 佐藤ヤスコ |
| 急かされて急いで気付けば六月尽 | 向町 渡月 峯 | 初茄子の自慢話に答すすむ | 持田 伊藤 洋子 |
| にらめっこ先に金魚が目をそらす | 富士見町 本間千代子 | 強がれど独りは寂し天の川 | 城南 橋本千枝子 |
| 七変化いつもとちがう紅をひく | 清水町 菅谷 光子 | 青嵐背中押されて逆上り | 南河原 若林 水翁 |
| わくら葉の少し気になる暁の路地 | 荒木 蛭間しげ子 | 病葉や野に晒したる肌の染み | 門井町 島田 茂 |
| 遠花火乙女心をよびさます | 白川戸 松本 忠之 | 簾越し転寝するも心地よし | 持田 田子 敏枝 |
| 愚痴聞いてくれる猫いる木蔭かな | 持田 二瓶 弘子 | 青嵐現世の塵を拭いけり | 持田 丸山 麟一 |
| 風の来て植田今にも溺れそう | 城西 新井 禮子 | 介護士の笑顔に雷も和むかな | 向町 小沼 重蔵 |
| 梅雨寒に亡母の香りのかっぱう着 | 渡柳 川田 静江 | 亡き祖母の面影浮かぶ遠花火 | 長野 篠崎 礼子 |
| 十葉や嫌われつつも花可憐 | 下中条 梶原 銃司 | おさなこの指さす先にどくだみ花 | 城西 新井 俊彦 |
| 大利根の水煌々と植田かな | | (三沢 一水 監修) | |

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。
 特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。

市制施行65周年記念

ぎょうだ男女共同参画フォーラム2014

- ▶日時 9月23日(火)午前10時30分開演
- ▶場所 「みらい」文化ホール
- ▶内容 増田明美さん(大阪芸術大学教授・スポーツジャーナリスト)による講演「自分という人生の長距離ランナー」
- ▶定員 500人
- ▶入場料 無料
- ▶入場整理券配布 8月19日(火)からVIVAぎょうだ、地域づくり支援課、中央公民館、各公民館窓口(VIVAぎょうだ、中央公民館、各公民館は月曜日が休館※VIVAぎょうだ、中央公民館は、月曜日が祝日の場合は翌日が休館、地域づくり支援課は月～金曜日のみ(祝日を除く))※ひととき保育(2歳以上の未就学児の保育・無料)の申し込みは9月12日(金)まで
- ▶その他 手話通訳があります。
- ▶問い合わせ VIVAぎょうだ ☎556-9301 【FAX】556-9310



イベント

ロビーコンサート

- ▼日時 8月19日(火)午後0時20分～0時50分
- ▼場所 市役所玄関ロビー
- ▼曲目 「夏の思い出」「夏は来ぬ」庭の千草」他※変更となる場合あり
- ▼出演 行田アサンブル協会
- ▼主催 財政課 (内線327)

ワッショイ☆NPOまつり

～NPO法人等活動発表会～

- ▼日時 8月22日(金)午前9時30分～正午
- ▼場所 久喜市鷺宮西コミュニティセンター(おおとり)久喜市中妻785-2
- ▼内容 東日本大震災の被災者・被災地支援を行う認定NPO法人など4団体が活動状況を発表する他、救助犬のデモンストレーション、サマーキャンダルづくり、輪投げなどのブース展示を行う
- ▼入場無料
- ▼主催 埼玉県利根地域振興センター
- ▼問い合わせ 8月15日(金)までに電話またはFAXで同センター

おはなし会

- ▼日時 8月17日(日)午前10時～正午
- ▼場所 太井公民館
- ▼内容 素ばなし、手遊び、本の朗読
- ▼対象 幼児または小学校低学年の児童とその保護者
- ▼参加無料
- ▼主催 おはなしタンバリン
- ▼後援 行田市教育委員会
- ▼問い合わせ 栗原 ☎554-4300

第26回大正琴演奏会

- ▼日時 9月7日(日)午後1時30分開演
- ▼場所 「みらい」文化ホール
- ▼曲目 「あの上野駅」「雨の御堂筋」「ラ・クンパルシータ」「南部蝉しぐれ」他
- ▼入場無料
- ▼主催 行田市大正琴連盟
- ▼後援 行田市、行田市教育委員会、(公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団
- ▼その他 今泉一久夫さん(二胡演奏者)が特別出演します。
- ▼問い合わせ 同連盟 大澤 ☎556-5085

いろいろな楽器を つくってあそぼう

- ▼日時 8月27日(水)午後1時30分
- ▼場所 佐間公民館
- ▼内容 身近な材料でエコ楽器作りができるコーナーをまわるスタンプリイを実施
- ▼対象 幼児以上(小学生1年生未満は保護者同伴)
- ▼参加費 1人300円(3歳以上※材料費など含む)
- ▼主催 行田おやこ劇場
- ▼後援 行田市教育委員会
- ▼問い合わせ 同劇場事務局 ☎090-3816-5374

映画「河童のクゥと夏休み」上映会

- ▼日時 9月20日(土)【1回目】午前10時15分～午後0時35分【2回目】午後1時30分～3時50分
- ▼場所 「みらい」文化ホール
- ▼内容 不思議な力を秘めた河童のクゥと小学生の少年・康一との出会いを通して、友情や思いやり、人とのつながりなど大切なことを思い出させる物語
- ▼入場料 900円(3歳以下は無料)
- ※チラシ(各公民館および図書館で配布)に付いている割引券を利用した場合100円引き
- ▼主催

6th a p p かわいさミット

- ▼日時 8月20日(水)～26日(火)午前10時～午後6時(26日は午後4時30分まで)
- ▼場所 八木橋百貨店8階カトリアホール(熊谷市仲町74)
- ▼内容 全国の障害者団体が作ったかわいいグッズやアートの展示、コンサートなどのイベントを開催
- ▼主催 6th a p p かわいさミット実行委員会
- ▼問い合わせ NPO法人CILL(ひこうせん) ☎555-1100 【FAX】555-1130-1 【Eメール】nikousen@hks.or.jp

行田ゼリーフライ大使 潮崎ひろのの震災復興 チャリティーライブ#39

- ▼日時 8月24日(日)午前11時15分～午後0時15分、午後2時15分～3時15分(2回公演) ※雨天中止
- ▼場所 忍城址
- ▼出演 潮崎ひろのさん(市内在住の歌手)
- ▼観覧無料
- ▼主催 (有)ポップ企画
- ▼問い合わせ ☎554-0789

第5回写壇虹写真展

- ▼日時 8月29日(金)～31日(日)午前9時30分～午後6時(31日は午後5時まで)
- ▼場所 コミュニティセンターみずしろ
- ▼内容 ニューセンターみずしろ会員34人が楽しみながら1年間取り組んできた作品(全紙サイズ68点)を展示する
- ▼問い合わせ 小山 ☎559-4916

スポーツ

第33回市長杯争奪 硬式テニス大会

- ▼期日 ①9月14日(日) ②9月21日(日) ※雨天の場合は9月28日(日)
- ▼場所 総合公園テニスコート
- ▼種目 ①【男子】ダブルスA、シングルB 【女子】ダブルスA、シングルB
- ②【男子】シングルA、ダブルスB 【女子】シングルA、ダブルスB ※各種目Aは一般、Bは初中級者
- ▼参加費 シングル1千500円、ダブルス2千円(1組)
- ▼主催 行田市テニス協会
- ▼問い合わせ 総合公園テニスコートクラブハウス内で

相談

生活保護110番

- ▼日時 9月7日(日)正午～午後4時
- ▼内容 司法書士が生活保護に関する電話相談を無料で実施する
- ▼相談電話番号 0120-052-088
- ▼主催 全国青年司法書士協議会
- ▼問い合わせ 司法書士伊原 ☎090-7827-1178

個別金融相談会

～事業主、創業予定の方、お金の悩みを解消！～

- ▼日時 9月12日(金)午前10時～正午
- ▼場所 行田商工会議所
- ▼内容 資金繰り、創業など金銭面での悩みを日本政策金融公庫担当者からアドバイス
- ▼対象 事業主、創業を考えている方
- ▼相談無料
- ▼問い合わせ 9月10日(水)までに同会議所 ☎556-4111 【FAX】556-0059

広告

広告

教室・講習会

第5回プロから教わる街の
ゼミナール「まちゼミ」

▼期日 8月1日(金)～31日(日)
▼場所 市内各店舗内 ▼内容 お店の方が先生となり、それぞれの専門知識や特徴を生かした少人数制のゼミナールを開催する ▼講座名 「和菓子をご家庭でも」「フラワーデザインを楽しもう」「家庭でできるツボ療法」「座禅体験」「業務用ミシンで刺繍体験」「家庭でできる『ベーカリー講座』」他 ▼その他 詳細は行田商工会議所ホームページを参照 ▼申 各店舗 ▼問 同会議所 ☎556-4111

いごの教室

▼日時 9月1日、10月6日、11月10日、12月1日、平成27年1月19日の月曜日(全5回) 午後1時30分～3時 ▼場所 総合福祉会館「やすらぎの里」ボランティア団体支援室 ▼内容 簡単な発語練習を行った後、簡単なグループ

活動を行ったりすることで発語によるコミュニケーションを体験的に学ぶ ▼対象 市内在住の満18歳以上の方で、発語が難しいなどコミュニケーションで困っている方(付き添い可) ※障害者手帳の有無は問いません。

水中若返り教室

▼日時 9月3日～17日の毎週水曜日(全3回) 午後3時～4時 ▼場所 総合福祉会館「やすらぎの里」機能回復訓練プール ▼内容 水中で有酸素運動や筋力強化運動を行い、健康的な体づくりを目指す ▼対象 市内在住の60歳以上の方(医師から運動を禁止されている方を除く) ▼定員 15人(先着順) ▼参加無料 ▼持ち物 水着・水泳帽・タオル ▼申・問 8月19日(火)午前9時から直接または電話で行田市社会福祉協議会 ☎557-5400

募集

職業訓練(建築分野および製造分野の2講座)の訓練生

▼訓練日時 10月1日(水)～平成27年3月27日(金)の月～金曜日(祝日、年末年始を除く) 午前9時20分～午後4時30分 ▼場所 ものつくり大学 ▼内容 【建築分野】建築CAD設計製図を学ぶ【製造分野】機械CAD設計製図および加工技術を学ぶ ▼対象 求職活動を行っている方 ▼定員 各講座20人 ▼受講無料※テキスト代のみ自己負担 ▼その他 申込方法など詳しい内容は、同大学ホームページを参照 ▼問 同大学ものつくり研究情報センター ☎564-3880

その他

▼日時 9月11日(木)午前10時～午後4時(正午～午後1時を除く) ▼場所 忍・行田公民館 ▼内容 全血献血 ▼持ち物 献血カード

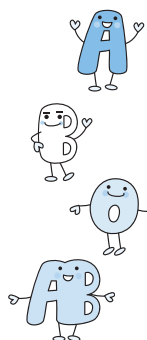
(公財) 行田市産業・文化・スポーツいきいき財団

… 申し込み・問い合わせ …

産業文化会館 TEL. 556-6371 FAX. 556-6372	商工センター TEL. 553-0510 FAX. 553-2021	古代蓮会館 TEL. 559-0770 FAX. 559-0784	行田グリーンアリーナ TEL. 553-3377 FAX. 553-0487

<http://www.ikiiki-zaidan.or.jp/index.html>

(お持ちの方) ▼主催 行田ライオンズクラブ ▼問 埼玉県赤十字血液センター ☎042-985-6933



北彩タウン情報

～でかけませんか となりまち～

羽生市

ムジナもん仲間たちの4コマ漫画を募集

▶応募方法 市役所、市民プラザ、図書館、各公民館、産業文化ホール、パープル羽生、ワークヒルズ羽生で配布している応募用紙(羽生市ホームページからダウンロード可)を使用し、10月31日(金)までに郵送してください。
【郵送】〒348-0058 羽生市中央3-7-5 羽生市キャラクター推進室
▶発表 平成27年1月上旬に入賞者へ通知します。
▶賞 【優秀作品】12点(「広報はにゅう」に掲載、副賞：ムジナもんグッズセット)【入選作品】30点(副賞：ムジナもんグッズ)
▶その他 応募作品の著作権は主催者に帰属し、作品は返却しません。

▶問い合わせ 同推進室(市民プラザ内) ☎560-3119

加須市

ホテアオイが見頃です

道の駅「童謡のふる里おとおね」周辺と「いなほの湯」北側に、薄紫色のホテアオイが咲いています。見頃は9月下旬まで。水に浮かんだ辺り一面に広がる景色をお楽しみください。
▶場所
・道の駅「童謡のふる里おとおね」(加須市佐波258-1)周辺
・いなほの湯(加須市馬内1800-1)北側
▶問い合わせ 米米倶楽部 ☎0480-72-2111 または大利根総合支所環境経済課 ☎0480-72-1319、加須クリーンセンター ☎0480-61-3671

親子コミュニケーション講座
ゲームや歌に合わせて
楽しくイングリッシュ

▼日時 9月28日～11月2日の日曜日(全5回※10月5日を除く) 午前10時30分～正午 ▼場所 商工センター405研修室 ▼内容 簡単なコミュニケーション英語を交え、歌に合わせて体を動かす ▼対象 3歳～未就学児の子どもとその保護者 ▼定員 10組(先着順) ▼参加費 【子ども】1千円【保護者】1千500円(保険料含む) ▼申 8月22日(金)午前10時から同センター窓口(電話受け付けは同日午後1時から)

第20回
行田市美術家協会展

▼日時 9月3日(水)～9月15日(月) 午前9時～午後4時30分(入場は午後4時まで) ※火曜日休館 ▼場所 産業文化会館アートギャラリー ▼内容 行田市美術家協会会員の作品展 ▼入場無料

グリーンアリーナいきいき&わくわくエンジョイスportsクラブ会員

クラブ名	日時	場所	内容	対象	会費	申し込み・問い合わせ
SAファイトクラブ	毎週土曜日 午前10時～11時	「行田グリーンアリーナ」 剣道場他	ボクシングの動作を取り入れたエクササイズなどを行い、脂肪燃焼を促進させダイエット効果を高める	18歳以上の方(先着順)※定員になり次第、入会待ちとしての受け付けに変更	月額2,000円 ※トレーニング室など月4回無料利用券付き	直接または電話で行田グリーンアリーナ ☎553-3377 ※原則として入会は月初めの開催日から

広告

広告

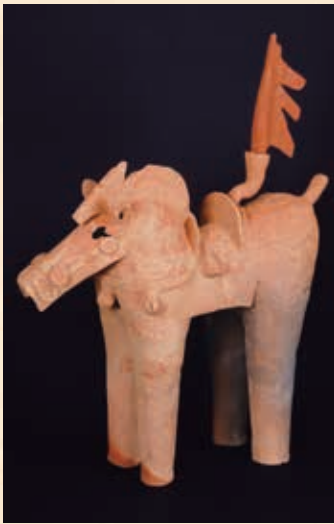
海を渡って来た文化

「市報ぎょうだ」7月号で古墳時代の物流について紹介しましたが、当時は遠く朝鮮半島からもさまざまな文物が市域にもたらされていたようです。

埼玉古墳群の稲荷山古墳から出土した轡（f字形鏡板付轡）は、鏡板の縁に刻みが施されています。同様な轡は朝鮮半島でしばしば出土していますが、国内では他に1例出土例があるだけです。この轡は外来系の轡と考えられ、5世紀末ごろには朝鮮半島の文物が行田まで伝わっていたことが伺えます。

6世紀後半に築かれた埼玉古墳群の將軍山古墳から出土した馬具や、酒巻古墳群の酒巻14号墳から出土した埴輪にも外来系の文物が多く見られます。

將軍山古墳から出土した馬冑（馬の鎧兜）は、国内では他に1例出土例があるだけの貴重な



酒巻14号墳出土の「旗指物を立てた馬形埴輪」

重な馬具ですが、朝鮮半島製と考えられています。同古墳出土の轡（金銅製心葉形十字文鏡板付轡）も朝鮮半島の高句麗にルーツを持つものです。雲珠、辻金具、鈴などの馬具も朝鮮半島で同様のものが多く出土しています。旗指物を立てる馬具である蛇行状鉄器も、馬冑とともに朝鮮半島の古墳壁画に描かれている外来系の珍しい馬具です。

酒巻14号墳からは、この蛇行状鉄器を付けて旗指物を立てた姿を表わした国内唯一の馬形埴輪が出土しています。この馬形埴輪と共に国内では他に1古墳でしか出土例がない筒袖の衣装を着た人物埴輪や、ふんどしをした力士と思われる人物埴輪も出土しています。筒袖の衣装は、当時の朝鮮半島の古墳壁画に描かれた半島の人々の衣装とよく似ています。また、力士の姿も壁画に見られます。

力士の埴輪は吉見町の和名埴輪窯でつくられたと推測されますが、古墳を築いた人物や埴輪をつくった工人が、朝鮮半島の人々の服装や力士の姿を知っていた可能性が高いと思われます。

朝鮮半島の人々がはるばる行田までやって来たのかもしれない。（文化財保護課 中島洋一）

こぜに ちゃんが 行く!

成就院三重塔

長野地内にある成就院三重塔。この塔は、享保14年(1729)に建立されたもので、県の指定有形文化財に指定されているんだ。
高さ10メートルの三重塔は、宮大工ではない地元の大工さんによって建てられたのが特色。また、江戸時代に建てられた三重塔は県内では3基しかなく、とても貴重な建物なんだって。古代蓮の里の近くにあるから、古代蓮の里を訪れたときには、みんなで立ち寄りくださいね。

このコーナーでは、行田の歴史や名所、名物などを行田ゼリーフライキャラクターのこぜにちゃんที่ 分かりやすく紹介します。



今月の表紙

6月30日、浮き城のまち行田サイクルサポーターズ発足式が行われました。
市では、自転車利用者が快適に市内の観光施設を回遊できるよう「浮き城のまち行田サイクルサポーターズ制度」を創設。「ポタリングのまち行田」の第一歩となる発足式に、ポタガール埼玉の後口紗織さん(写真右)、筒井麻由さん(写真左)と空気入れの貸し出しやトイレの提供など自転車利用者の支援を行う市内の協力店舗の皆さんが参加しました。

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をCD-Rに録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)までご連絡ください。



市報ぎょうだは再生紙を使用しています